

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	在宅ふれあい事業費補助金	開始 年 度	平成3年度
団 体 名	社会福祉法人函館市社会福祉協議会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市在宅福祉ふれあい事業費補助金交付要綱 函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	概ね65歳以上の一人暮らしの者もしくは夫婦のみの世帯または心身の障がい等により日常生活に支障のある者がいる世帯などに提供する、在宅福祉ふれあいサービス事業、ボランティア地域援助活動支援事業、健康・生きがいづくり推進事業、在宅福祉ふれあい事業の促進に関する事業に対し補助している。
目 的	(目 的) 地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚、高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、高齢者等が住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域社会の実現を図る。
・ 効 果	(効 果) 社会福祉協議会が実施主体となり、町会単位で設置している在宅福祉委員会において、在宅福祉サービスを実施することにより、高齢者等の自立促進と社会参加、交流の深化を図り、地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心が育成され、より一層の地域福祉の増進を図ることができる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	繰入金	計
		市	その他					
収 入	26	34,387					3,821	38,208
	27	42,364					4,863	47,227
	28	42,449					4,057	46,506
	29	42,374					3,575	45,949
	30	42,898					3,566	46,464
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	26	2,068	921	35,219				38,208
	27	12,156	785	34,286				47,227
	28	11,341	865	34,300				46,506
	29	10,200	903	34,846				45,949
	30	10,800	858	34,807				46,465

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	在宅ふれあい事業費補助金
----------------	--------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚、高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、高齢者等が住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域社会の実現に大きく貢献するものである。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	高齢者等の自立促進と社会参加、交流の深化を図り、地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心を育てていく役割を担っている。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	各種事業や組織運営などは自主的に行われている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	地域性などによりそれぞれの在宅福祉委員会の活動等は画一ではなく、予算の執行についても柔軟な対応が必要とされる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	当該事業は地域における福祉活動の促進を目的とした事業であることから、補助割合が1/2を超えている状況にあるが、本市の地域福祉の推進を図るうえで必要であることから、函館市補助金交付規則第6条第2項ただし書きを適用したい。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	在宅ふれあい事業費補助金
----------------	--------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等) ・在宅福祉ふれあいサービス事業 (ふれあいサービス事業, 家事援助サービス事業, 給食サービス事業, 訪問理容美容サービス支援事業) ・ボランティア地域援助活動支援事業 ・健康・生きがいがづくり推進事業 (世代間交流支援事業, 健康・生きがいがづくり教室開催事業) ・在宅福祉ふれあい事業の促進に関する事業 (協力員等の養成指導および研修事業, 広報事業)
(達成状況) 平成30年度実績 ・ふれあいサービス事業 122委員会 5, 585世帯 ・家事援助サービス事業 (家事 17委員会 167世帯, 除雪 42委員会 398世帯) ・給食サービス事業 (会食会 94委員会 412回, 茶話会 60委員会 194回) ・訪問理容美容サービス支援事業 対象者 13人 ・ボランティア支援事業 29団体 ・愛のふれあい訪問事業 ヤクルト1, 891本 ふれあい弁当100件 ・世代間交流支援事業 20回 ・健康・生きがいがづくり教室開催事業 11か所 ・研修会開催事業 10回 ・地域懇談会開催事業 1回 ・福祉教育推進養成事業 11校

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価) 十分効果をあげている ☒ 一定の効果をあげている ☐ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	(理由) 平成3年度に函館市社会福祉協議会が実施主体となり, 民生委員, 町会関係者, ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し, ふれあいサービスや家事援助サービス等の事業を開始。平成5年度からは, 在宅福祉に貢献するボランティア団体への支援や生きがいがづくり等の新たな事業を取り入れるなど, 一層の地域福祉の増進を図っており, 今後も福祉発展の効果が十分期待できる。
--	--

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続 ☒ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) 必要な見直しや改善を図りながら, 経費節減に取り組む。 (見直しの時期) 令和3年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定 令和 3 年度	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 令和 3 年度
----------------------------	---	------------------------------------